

保護者様

北九州市立黒畑小学校  
校長 濱小路 啓之

## 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、6年生を対象として、令和6年4月18日（木）に「教科（国語、算数）に関する調査」、文部科学省が指定した日（4月10日から4月30日の間）に「児童質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

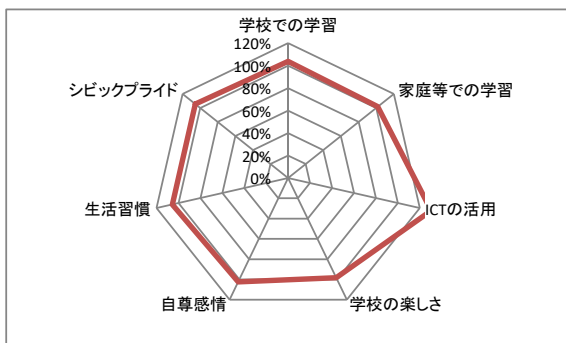
学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析（傾向や特徴）
国語	全体的に平均正答率は、やや上回っているが、思考力・判断力・表現力等の「話すこと・聞くこと」の問題が全国平均回答率を下回っていた。
算数	全体的に平均正答率は、下回っている。特に「変化と関係」や「データ活用」の問題に課題がある。

### 2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



質問調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「生活習慣」については、肯定的に答えた児童の割合が全国平均を大きく上回っている。「早寝・早起き・朝ごはん」を呼びかけ、数値に反映されている。</li> <li>○総合的な学習の時間では、「地域の川やホテルの育成」(3年生)、「地域の年長者について」(5年生)等、地域について追究する学習に取り組んだ。その成果が「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」と答えた児童の割合が、全国平均を上回っている。</li> <li>○「5年生までに授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しました」については、視聴覚機器と共に授業づくりに取り入れてきた成果が数値に反映されている。</li> <li>○「家で自分で計画を立てて勉強をしています」と肯定的に答えた児童の割合が、全国平均をかなり下回っている。宿題の量や内容についての工夫が必要である。</li> </ul>

### 3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

○朝自習(黒畑タイム)を活用し、国語や算数の復習、発展問題に取組み、基礎的、基本的な学力の定着を図る。  
○校内研修を行い、「子どもが見通しをもってが学習できる」「子どもが考えを深める話し合い活動」「子どもが考えが書けるふり返り」ができる授業づくり・授業改善に努め、授業力の向上を図る。

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

○学年の発達段階に応じて、宿題の量や内容を工夫して家庭学習・自主学習の定着を図るとともに、学校だより、学年通信等で家庭への啓発と連携を図る。  
○黒崎中学校区4校統一ルール(スタンダード)を学期ごとに全校児童に周知徹底し、中学校への移行をスムーズに促す。